

学 会 記 事

第7回学会大会（昭和61年11月21日、22日）以降の学会の動向についてご報告いたします。

(1) 事務局体制の充実

学会の日常事務を、学会事務局事務処理センターで行うことになりました。郵便物は同センター宛お送りください。また、学会事務局直通電話を開設しました。それにともないことづけ電話はとりはずしました。

(2) 理事会の報告

11月13日(金)に全国理事会を開催し、年次総会の議案等について審議しました。また、関東在住の常任理事会を、定期的で開催してきました。

第52回—12月27日(土)、第53回—1月23日(金)、第54回—4月4日(土)、
第55回—5月9日(土)、第56回—6月13日(土)、第57回—7月18日(土)、
第58回—8月22日(土)、第59回—10月19日(月)

第52回の常任理事会では、第7回学会大会の反省を行うとともに、今後の学会大会のあり方や年報第8号の特集テーマについて協議を行いました。また各種委員会の委員長を選出しました。以後、学会大会や年報のことなど研究活動に関する問題、あるいは学会運営上の諸問題について協議してきました。常任理事会での主な協議事項については、学会だよりでもお知らせしています。

(3) 第8回学会大会

11月13日(金)、14日(土)の2日間、国立教育会館社会教育研修所（東京・台東区）で開催しました。

シンポジウム	「民間生涯教育事業の現状と課題」	
課題研究発表Ⅰ	「成人の学習要求と学習プログラムをめぐって」	3件
課題研究発表Ⅱ	「『生涯学習体系への移行』の条件」	3件
課題研究発表Ⅲ	「地域社会における情報提供の現状と課題」	3件
自由研究発表		14件

課題研究のテーマは、4つの研究部会のうち、生涯学習部会、生涯教育システム部会、学習情報・相談部会の3部会より選びました。

自由研究発表では、今回から「口頭発表」に加えて「展示発表」を設けました。また、新たな試みとして、会員相互の生涯教育に関する情報の交換を促進するため、「資料交換コーナー」を設けました。

(4) 年報第8号の刊行

第8回学会大会時に刊行しました。

特集テーマ 「民間生涯教育事業の現状と課題」

(5) 研究会の開催

3つの地区で地区単位の研究会（大会）が行われました。

・北海道地区

10月26日(月) 会場 北海道庁

「これからの学校教育と社会教育を考える」つどい

・関東地区

5月15日(金) 第9回研究例会 会場 青山学院大学

9月17日(木) 第10回研究例会 会場 青山学院大学

10月23日(金) 第11回研究例会 会場 青山学院大学

・九州地区

5月16日(土)、17日(日) 会場 福岡県立社会教育総合センター

第6回九州地区生涯教育実践研究交流会

(6) 学会だよりの発行

学会だよりを28号までお届けしました。常任理事会の報告、各委員会の報告、事務局からのお知らせ、研究会や各地での研究活動の報告、寄贈資料の紹介、新入会員の紹介、会員の移動などを掲載しています。

なお、今年も「会員情報号」(第28号、9月10日発行)を発行しました。会員相互の交流促進を目的に、日頃の研究や実践、興味・関心のあること、探索中の文献・事例などについての会員の方々からの寄稿を掲載しています。

(7) 会員名簿の発行

1987年8月31日現在で編集・発行しました。

(8) 会員数の動向

1987年10月現在の会員数は526名です。

(文責 水谷 修)